



編集発行 南薩地域振興局農林水産部農政普及課
南薩地域振興局農林水産部農政普及課指宿市十二町駐在

TEL 0993-52-1359
TEL 0993-22-6422

南薩地域の新規就農者への支援活動

1 南薩地域ニューファーマーの集い

南薩地域振興局農政普及課では、今後の地域農業の担い手として期待されている新規就農者の門出を祝福する「南薩地域ニューファーマーの集い」を7月6日に、川辺文化会館で開催しました。

令和2年度に就農した5名が参加し、指導農業士や、女性農業経営士、農業青年クラブ員が、それぞれの立場から励ましの言葉や営農に向けた助言指導を行いました。

また、農林水産部長からは、「先輩のアドバイスに耳を傾け、積極的に情報交換をしながら、栽培技術習得や経営管理能力の向上に努めることが重要です。一日も早い農業経営の確立を期待します。」とのエールを送りました。これに対し、新規就農者からは、「プレッシャーはあるが、多くの人に助言をもらいながら、今後の農業経営に励みたい。」との抱負がありました。



ニューファーマーの集いにて
新規就農者を祝福

2 新規就農者に向けた支援活動

農政普及課では、新規就農者の農業技術や経営管理能力向上に向けて、農業基礎講座や、各品目毎に実施する専門講座、パソコン複式簿記記帳会（初心者向け）を開催しています。

毎年、参加者からは、「知りたかったことを詳しく聞けて良かった。」「明確な目標と現状を理解することが大事だと感じた。」など、好評を得ています。



茶園管理のポイントを研修(上)
農業機械の取扱を研修(下)

茶の生産工程情報をICT活用で効率化

1 はじめに

近年、茶業経営においては、経営規模の拡大とGAPの取組が進んでいます。経営規模が拡大するほど、ほ場毎の栽培管理の把握と効率化が話題になります。

そこで、南九州市茶業振興会では、南九州市内6工場・35戸の実証農家と市・農協・振興局農政普及課と連携し、ICTを活用した実証事業に取り組みました。



実証農家へ事業内容を説明

2 これまでの実証成果

(1)「茶れきくん」と「アグリノート」の連携

県経済連茶業部が管理している茶生産履歴管理システム「茶れきくん」は販売先からの生産履歴の開示に対応していますが、茶工場での入力事務作業の負担が多くなっています。一方、「アグリノート」は、初期設定が煩雑なものの、Google Map上にほ場を表示し、スマホ等で入力・管理できます。

そこで、入力事務の簡素化や、生産工程管理の見える化と生産工程情報の共有化などを図るため、インターネットを介しクラウドで管理する2つのシステムを連携させました。

連携システムを活用するため、様々な経営方式の実証農家と検討を重ね、使用方法を示した「導入マニュアル」を作成しました。

(2) 連携システムの実証活動

① 作業計画作成と進捗状況

連携したシステムに備わる作業計画の作成機能を活用し、作業計画の進捗状況を確認することができます。

作業終了の記録をするとほ場の色が変わるので、作業者同士で進捗具合が把握できます。



作業進捗状況の確認例

(3) GAPへの活用

ほ場登録情報に周辺ほ場の概況を写真やファイルで保存し、地図上に危険箇所(ドリフト注意、土手注意など)を示すことで、GAP基準に対応しています。

さらに、機械点検など、詳細に作業項目を設定することで、GAP基準に対応できる部分が増えるものと考えられます。



GAP管理点の対応例

3 さいごに

連携システムの利用者は、「導入マニュアル」により、普及を図った結果、実証農家のロコミなどもあり、徐々に増えています。

今後は、GAP対応などの活用例をまとめさらに、生産農家に波及させていきたいと思えます。



導入マニュアル

「観葉のまち指宿」PR活動を始動！

1 観葉のまち指宿協議会の発足

全国有数の観葉植物の生産地「指宿市」。地中深く流れる天然温泉の熱を生かした観葉植物の生産は約70年の歴史を誇ります。

しかし、単価の低迷や輸送・生産コストの増加、担い手不足や高齢化の影響等により、産業として縮小傾向にあることから、令和2年3月、観光業界と連携し、観葉植物のPRと誘客促進を図るため、観葉のまち指宿協議会【構成団体：JAいぶすき観葉植物部会及び青年部会、JAいぶすき、指宿市観光協会、県、指宿市(農政・観光関係4課)】を発足し、令和2年度から観葉のまち指宿事業を展開しています。

みどりに恋を。

2 事業の取組内容

(1) 統一ロゴの作成

指宿市が観葉植物の産地であることは、花き業界では知られていますが、一般にはあまり知られていません。

そこで活動初年目は、知名度向上のため、商標等の知的財産を題材にした勉強会を開催し、

「観葉のまち指宿」の統一ロゴを作成し、観葉植物に添えて出荷することになりました。

(2) PRアイテム等の作成

PR活動に使用するポスターやチラシ、実需者向けのカタログ(写真1)等の作成とWEBページをリニューアル(写真2)しました。今年度からは、同時にインスタグラムなどのSNSを活用し、積極的に情報発信を行います。



観葉のまち指宿

キャッチフレーズとロゴマーク。今年度は商標の取得を進めています。



左:ポスター、右:観葉植物商品カタログ



リニューアルしたWEBページ
指宿で生産している観葉植物の商品
カタログ(約180品目の概要や育て方等)を今回新たに掲載しています。
右のQRコードからホーム画面にアクセスできます。

(3) 県内外におけるPR活動

昨年度は、市内の宿泊施設等との連携による観葉植物の展示や菜の花リモートマラソンイベントでの観葉植物プレゼントを行い、「観葉のまち指宿」をPRしました。

3 今後の活動

今年度は地域振興推進事業を活用し、本格始動していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、主要消費地でのPR活動など、計画変更を余儀なくされています。

市場や観葉植物応援店等の協力を得ながら、ひとりでも多くの消費者に「観葉のまち指宿」を知ってもらうとともに、指宿の観葉植物ファンを増やせるような取組を継続していきます。



写真3 PRアイテムの制作に向けた検討会の様子

南さつまのゆら早生温州みかんの産地育成への取組

1 令和3年産のゆら早生栽培の状況

南薩地域で生産される温州みかん「ゆら早生」は、糖度が高く酸味とのバランスにより美味しいと評判のみかんです。本年度は開花・生育が早く、9月下旬から出荷されています。本年産は7月下旬から8月上旬までの極端な高温乾燥による気象によって日焼け果実やその後の長雨多雨による裂果の発生等もありましたが、その後の天候に恵まれ順調に仕上がっています。



着色したゆら早生

2 「ゆら早生」の産地育成支援

「ゆら早生」の知名度アップと有利販売につながる新たな流通ルートを確認するために、前年度は軽くて持ちやすく、値頃感の

あるスタンドバック(手提げ袋、800g入り)を作成し、福岡・久留米の量販店で試験販売を行いました。またスタンドバックに同封した消費者アンケートは多くの返信があり、食味及びスタンドバックに対する消費者の高い評価が得られました。

本年度からは、県内でもスタンドバックを活用した販売を展開していきます。地域のAコープ等でお買い求めください。



スタンドバック入りゆら早生(左)と量販店における販売状況(右)

農機事故ワースト1位、動力刈払い機の安全使用

動力刈払い機は、回転刃がむき出しで、しかも高速で回転するため誰の目にも危険性を感じる機械です。使用頻度が高い上に、草に隠れた石など危険な状況を目視しにくく、危険に気づかないことも多いです。全国での農業機械事故ワースト1位がこの動力刈払い機となっています。

動力刈払い機事故の特徴を理解し、意識も、服装も危険に備えて慎重に作業することが求められます。複数で作業する場合も相互に注意を払うことが大事です。使い慣れた機械だと油断せず、正しい服装で安全に作業することに心がけましょう。



No	機種	件数	%
1	動力刈払い機	686	18
2	トラクター	576	15
3	軽トラック、トラック	354	9
4	コンバイン	215	6
5	チェーンソー	193	5

出典: 全国共済農協連研究実態調査(平成30年)

動力刈払い機事故の4つの特徴

- 1

斜面・法面での不安定姿勢による事故(29.5%)
●小段の設置、スパイク靴の着用
- 2

回転刃による事故(接触、飛散物)(29.5%)
●防護の徹底、飛散物カバーを外さない
- 3

詰まりなどの除去時の事故(18.2%)
●確実にエンジンを切ってから
- 4

周辺環境に起因する事故(15.9%)
●慣れた場所でも事前確認